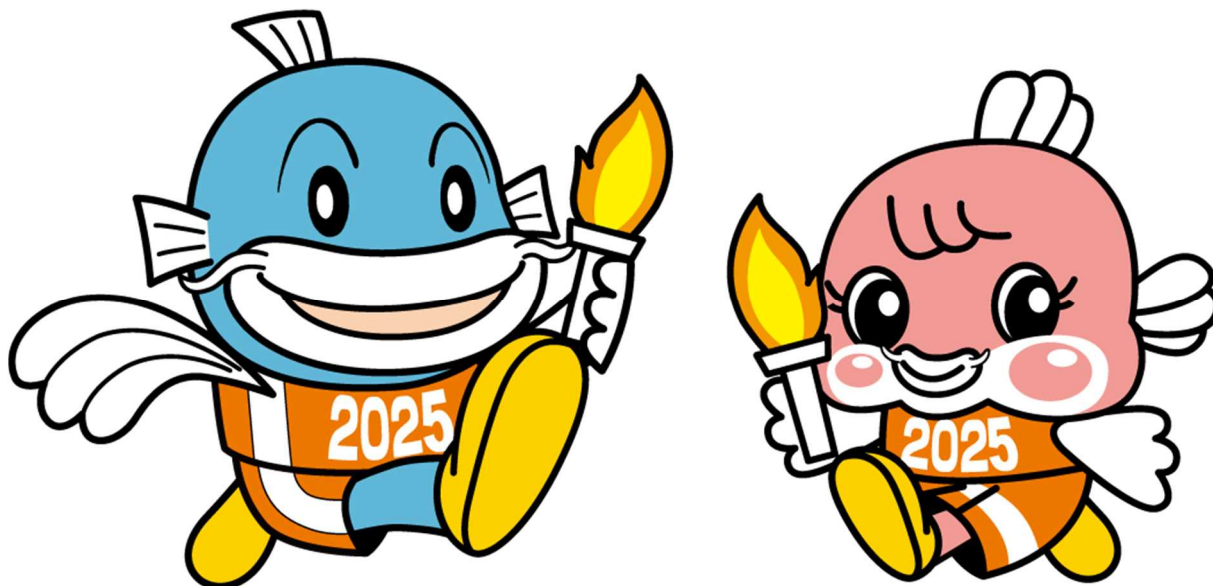
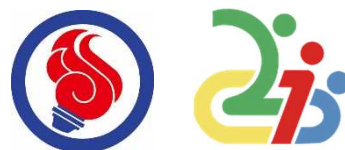


第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会

第 10 回 募金・協賛推進特別委員会

会議資料



2025 わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ大会マスコットキャラクター
「キャッフィー」 「チャッフィー」

日時：令和3年3月25日（木）14:00～15:00
会場：滋賀県大津合同庁舎7-A会議室

**第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会募金に係る
令和 2 年度 取組実績**

1 寄附の実績（R 3. 3. 19 時点）

令和 2 年度実績 **36,394,035 円**

寄附の種類	件数	寄附金額	備 考
個人	205 件	1,168,500 円	※内 197 件 クラウドファンディング（着ぐるみ製作費）
企業・団体	9 件	35,005,000 円	※内 1 件 クラウドファンディング（着ぐるみ製作費）
イベント等	19 件	12,702 円	イベント等での募金
据置き募金箱	—	134,333 円	
その他	2 件	73,500 円	びわ湖レイクサイドマラソン （チャリティーランナー（@500 円）） 他
計	235 件	36,394,035 円	（使途） 競技力向上 351,935 円 施設整備 35,011,600 円 広 報 1,030,500 円 （着ぐるみ製作費）

<参考>

年度	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	計
件数	2 件	10 件	27 件	112 件	57 件	59 件	235 件	502 件
寄附金額	11,000 千円	20,066 千円	23,320 千円	30,424 千円	59,362 千円	45,714 千円	36,394 千円	226,280 千円

2 主な取組

(1) 個人

① 寄附付商品販売の検討

大会マスコットキャラクターを活用した募金グッズ（ぬいぐるみ等）を製作し、委託販売実施にかかる税務署との協議・調整を完了した。「募金グッズ委託販売要領」を作成し、来年度から販売を可能にした。

募金グッズ



② 寄附返礼グッズの製作

- 缶バッジ（2025年バージョン）
2,000個



③ イベント会場等での募金活動の実施

＜イベント会場等での募金活動＞

→新型コロナウイルス感染症の感染拡大をふまえ、イベント会場等での募金活動は、秋以降に実施した。

（募金活動を行ったイベント）

- ・ 競技団体会長会議（11/12）
- ・ ふれあい祭（11/14）
- ・ トルコパラスポーツ応援イベント（12/5）
- ・ 「みんなで音楽会に出かけよう！」イベント（2/7）
- ・ フローリストフラワーコンテスト（2/13、14）
- ・ 手話・要約筆記ボランティア啓発セミナー（3/13）
- ・ 県庁内各種会議



令和3年2月13日

フローリストフラワーコンテスト



令和3年3月13日

手話・要約筆記ボランティア養成セミナー



<街頭募金>

→新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を踏まえて、中止し、代替措置として、スマートフォン版 WEB サイトによるインターネット広告を実施し、募金についてのPRを行った。

(期間：12/1～31、表示回数：約 12, 225, 622 回、クリック数：4, 379 回)

インターネット広告



④ クラウドファンディングサイトによる寄附の受け入れ

➢ 「滋賀応援寄附」のクラウドファンディングサイトを通じた個人寄附2件

⑤ ホームページ、SNSを活用した寄附募集の周知

大会専用ホームページ、Twitter、Instagramによる情報発信

⑥ 募金箱の設置箇所の拡大

県内のスポーツ施設の他、文化施設や民間施設に募金箱設置の協力を依頼し、設置した。

・令和2年度末募金箱設置箇所 138カ所 (令和元年度 134カ所)

⑦ スポーツイベント等とのタイアップの実施

➢ 「びわ湖レイクサイドマラソン」でチャリティーランナーの募集において参加料の一部を寄附いただいた。(101名 50,500円)

(2) 企業・団体

各種企業・団体等に対して、両大会の開催準備や寄附のメリット(企業イメージの向上、税制優遇措置など)、寄附金の活用用途等を説明のうえ、寄附依頼を行った。

また、依頼にあたっては、通常の寄附のほかに、以下のような企業活動にも資するメニューも提示した。

<通常の寄附以外のメニュー>

➢大会マスコット・愛称・スローガンを活用した商品展開

大会マスコットキャラクターや愛称・スローガンを活用した商品の販売に応

じて、「使用料」を納付いただくもの

…1社（大会マスコットキャラクターを用いたマスク製作）

➤ 「滋賀のスポーツ応援プロジェクト」

寄附額の2割以内で企業・団体名の入った広報グッズを作成・配付することで寄附者（企業等）をスポーツ応援企業として認知度を高めるもの

…実績なし

➤ 「飲んで応援！プロジェクト」

寄附型自動販売機を活用し、自販機設置協力者があらかじめ設定した飲料一本あたりの金額を寄附いただくもの

…飲料メーカーと県立スポーツ施設等への設置について調整中。

⇒企業・団体への依頼回数：延べ22回（出前講座を兼ねたもの2回）

（3）寄附募集に係る情報発信

国スポ・障スポの寄附制度についての認知を広め、個人や企業等による寄附の機運を高めるため、次のような取組を実施した。

- ・大会専用HPにおける情報発信
- ・『企業向け寄附募集パンフレット』および『募金リーフレット』の作成・配布等（開催年度変更に伴う更新）
- ・感謝状贈呈式実施と情報発信（知事による贈呈式2回、HP・報道機関への資料提供）

※資料提供に伴う新聞記事への掲載

令和2年11月24日寄附者への感謝状贈呈

令和3年3月15日寄附者への感謝状等贈呈



- ・滋賀応援寄附（ふるさと納税）と連携した周知（滋賀応援寄附のメニューの一つに国スポ・障スポ寄附が位置づけ）
- ・（新規）街頭募金中止による個人寄附代替取組は以下のとおり

① インターネット広告の実施

スマートフォン版WEBサイト「Yahoo!Japan」トップページ 募金啓発広告掲出
12月1日～12月31日

② 寄附募集についての記事掲載による情報発信

広報誌「Bispo:ビスポ」、「毎日新聞」、県民運動ガイドブック、BBC特番告知枠

③ 県庁内の職員端末のログオン広報にて「寄附のお願い」

を庁内向けに発信

9月、10月、12月、3月 (合計4回掲載)

広報誌「Bispo:ビスポ」
令和2年9月30日発行

BBC特番告知枠
令和3年1月10日放送

県庁内ログオン広報掲載画面

(4) 寄附金を活用した事業展開

寄附金について、次の事業に充当した。

➤次世代アスリート発掘育成プロジェクト 32万円

滋賀県内の小学校5年生を対象に運動能力テストを行い、約40名を選考。「滋賀レイキッズ」として「食育プログラム」や「競技体験プログラム」などの育成プログラムを実施し、将来、全国大会や国際大会で活躍できるトップアスリートを育成

➤競技団体育成・強化対策事業（パラアスリート育成支援） 30万円

競技団体における障害者スポーツへの理解の促進を図りつつ、全国障害者スポーツ大会等において活躍できる選手を育成するための強化事業を実施

➤ターゲットエイジの重点強化事業 30万円

滋賀で開催する国スポで少年種別の主力となる選手（小学校5年生～中学校2年生）を指定し、重点的に強化事業を実施

➤キャップィー着ぐるみ製作 94万8,750円

2008年の第21回全国スポーツレクリエーション祭での活動から11年経ち、老朽化したキャップィー着ぐるみの更新を実施

第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会募金に係る 令和 3 年度 取組計画 (案)

令和 3 年度は、大会マスコットキャラクターを用いた寄附付商品販売や寄附返礼グッズの製作、寄附募集の周知に向けた情報発信、企業・団体への寄附依頼の実施等を中心に取り組を進める。

1 個人

大会開催の周知に向けた広報活動と連携して、幅広い世代を対象とした寄附募集の周知と活動機会の充実を図る。

(1) 寄附付商品販売の実施

大会マスコットキャラクターを用いた寄附付商品について、事務局による直接販売またはスポーツ店等による委託販売(売上金から手数料を除いた金額を大会募金に充当する仕組み)を実施する。募金制度の周知や機運醸成にもつながるよう、大会マスコットキャラクターを用いた寄附付商品を販売することについて積極的に広報する。

(2) 寄附返礼グッズの製作

愛称・スローガンロゴや大会マスコットキャラクターを活用した寄附返礼グッズを製作する。

(3) イベント会場等での募金活動の実施

着ぐるみや寄附返礼グッズ等を活用しながら、募金活動を実施する。なお、街頭募金については、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた上で実施の可否を判断することとする。

(4) クラウドファンディングサイトを利用した寄附の受け入れ

手軽に、かつ気軽に寄附できる手法として、引き続き「滋賀応援寄附」のクラウドファンディングサイトによる寄附の受け入れを行う。

(5) ホームページ、SNS、広報誌等を活用した寄附募集の周知

大会専用ホームページとクラウドファンディングサイトの相互リンクや SNS 広報誌等を活用した情報発信により、寄附募集について周知する。

(6) 募金箱の設置箇所の拡大

引き続き県立・市町立のスポーツ施設・文化施設の他、民間施設への設置協力を働きかける。

(7) スポーツイベント等とのタイアップの実施

びわ湖レイクサイドマラソンでのチャリティーランナー募集の他、スポーツイベント等とタイアップしたチャリティーの実施を依頼する。

2 企業・団体

(1) 寄附依頼

引き続き各種企業に対して、両大会の準備状況や寄附のメリット（企業イメージの向上、税制優遇措置など）、寄附金の活用用途等を説明のうえ、協力を依頼する。

また、様々な企業に寄附制度への関心や認知度を高めるため、多くの企業が参画する経済団体・各種団体の会合の場を活用した説明を行う。

寄附依頼にあたっては、通常の寄附のほかに、企業活動にも資するメニュー（大会マスコットキャラクター・愛称・スローガンを活用した商品展開、「滋賀のスポーツ応援プロジェクト」、「飲んで応援！プロジェクト」）の提示を行う。

(2) 企業協賛制度の創設に向けた検討

令和4年度（開催3年前）の国スポの開催決定を受けて、日本スポーツ協会と共同で国スポにかかる企業協賛制度※を創設する予定であり、令和3年度は、制度創設に向けた諸準備（協賛金等の受け入れ手続きの検討、関係規程整備、日本スポーツ協会との調整等）を行うとともに、寄附依頼の機会を捉えて、同制度の創設について、企業の周知を行う。

※企業・団体からの協賛金や物品提供等により、大会運営を支えていただく制度。協賛企業には、協賛カテゴリに応じて大会マスコットキャラクター・愛称・スローガンロゴの広告使用権や商品化権、企業名を記載した看板掲出等の権利を付与する。協賛金・協賛物品は、大会の広報活動および大会運営等に活用する。

3 寄附募集に係る情報発信

寄附制度についての認知を広め、寄附の機運を高めるため、引き続き情報発信を行うものとし、次のような取組を実施する。

- ・大会HPにおける寄附関係の情報の充実
- ・大会SNS（Twitter、Instagram）、県公式SNS等による寄附募集の情報発信
- ・企業向け寄附募集パンフレットを、県下の経済団体等に配布し、窓口での配布や会員企業向けに周知を依頼する。
- ・インターネット広告による募金啓発の実施
- ・大会広報誌における寄附関係の記事掲載（寄附金を活用した事業の紹介）
- ・感謝状贈呈式の実施（2回程度実施し、HP掲載・報道機関へ資料提供）

4 寄附金を活用した事業展開

寄附金について、次の事業に充当する。

➤次世代アスリート発掘育成プロジェクト 5万5千円

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 募金推進要綱 改正（案）

【改正の概要】

- ・両大会の開催延期に伴い、年度を変更

改正前	改正後
<p>第1条 趣旨</p> <p>この要綱は、<u>令和6年(2024年)</u>の第79回国民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大会（以下「両大会」と総称する。）を滋賀県で開催するにあたり、県民総参加でつくる大会に向けて、開催に係る機運の醸成や大会の周知、大会の円滑な運営を図るために行う寄附金の募集（以下「募金」という。）について、必要な事項を定める。</p> <p>第2条～第9条 略</p>	<p>第1条 趣旨</p> <p>この要綱は、<u>令和7年(2025年)</u>の第79回国民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大会（以下「両大会」と総称する。）を滋賀県で開催するにあたり、県民総参加でつくる大会に向けて、開催に係る機運の醸成や大会の周知、大会の円滑な運営を図るために行う寄附金の募集（以下「募金」という。）について、必要な事項を定める。</p> <p>第2条～第9条 略</p>

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 募金推進要綱改正（案）

（趣旨）

第1条 この要綱は、令和7年（2025年）の第79回国民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大会（以下「両大会」と総称する。）を滋賀県で開催するにあたり、県民総参加でつくる大会に向けて、開催に係る機運の醸成や大会の周知、大会の円滑な運営を図るために行う寄附金の募集（以下「募金」という。）について、必要な事項を定める。

（推進）

第2条 募金は、第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会（以下「開催準備委員会」という。）が推進する。

- 2 開催準備委員会の構成員は、連携協力して募金の推進にあたるものとする。
- 3 開催準備委員会は、募金を推進するための計画を策定するものとする。
- 4 前項の計画は、進捗状況等を踏まえ、必要に応じ見直すものとする。

（名称等）

第3条 募金は、「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会募金」という名称を用いて行うものとする。

- 2 募金は、前項の名称のほか、必要に応じ愛称を用いて行うことができる。

（対象）

第4条 募金は、滋賀県内外の個人および企業・団体を対象として行うものとする。

（期間）

第5条 募金の期間は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 第7条第1号に掲げる経費のための募金 開催準備委員会の総会の議決により定める日から両大会最終日まで
- (2) 第7条第2号に掲げる経費のための募金 平成29年7月31日から両大会最終日まで
- (3) 第7条第3号および第4号に掲げる経費のための募金 平成27年8月31日から開催準備委員会の総会の議決により定める日まで

（受入れ）

第6条 募金による寄附金は、滋賀県が受け入れ、滋賀県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会運営等基金に積立てるものとする。

(使途)

第7条 滋賀県は、前項の規定により受け入れた寄附金を第5条各号の募金の期間に応じ、次の各号に掲げる経費の財源に充てるものとする。

- (1) 両大会運営に要する経費
- (2) 両大会の広報に要する経費
- (3) 両大会に向けたスポーツ選手の発掘、育成および強化に要する経費
- (4) 両大会に向けたスポーツ施設の整備に要する経費

(謝意表明)

第8条 寄附者に対しては、開催準備委員会会長が別に定めるところにより、謝意を表明する。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、募金の推進に関し必要な事項は、開催準備委員会会長が定める。

附 則

この要綱は、平成27年8月31日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年7月31日から施行する。

附 則

この要綱は、令和元年5月17日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年〇月〇日から施行する。

第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会
募金推進計画 改正（案）

【改正の概要】

全体スケジュールを変更

- ・両大会の開催延期に伴い、全体スケジュールを令和 7 年度まで延長
- ・令和 2 年度に「開催内定」を追加
- ・令和 3 年度以降の予定は 1 年延期

改正前						改正後									
1 推進体制（略） 2 推進に向けた視点（略） 3 具体的な取組（略） 4 推進計画の進行管理（略） 全体スケジュール						1 推進体制（略） 2 推進に向けた視点（略） 3 具体的な取組（略） 4 推進計画の進行管理（略） 全体スケジュール									
○募金の期間						○募金の期間									
		R2 (2020) 4年前	R3 (2021) 3年前	R4 (2022) 2年前	R5 (2023) 1年前	R6 (2024) -			R2 (2020) 5年前	R3 (2021) 4年前	R4 (2022) 3年前	R5 (2023) 2年前	R6 (2024) 1年前	R7 (2025) -	
			開催決定		リハール大会	開催			開催内定		開催決定		リハール大会	開催	
使 途	大 会 運 営	(始期未定)													
	選 手 の 発 掘 ・ 育 成 ・ 強 化	(終期未定)													
	施 設 整 備	(終期未定)													
【参考】企業協賛						【参考】企業協賛									
○具体的な取組						○具体的な取組									
		R2 (2020) 4年前	R3 (2021) 3年前	R4 (2022) 2年前	R5 (2023) 1年前	R6 (2024) -			R2 (2020) 5年前	R3 (2021) 4年前	R4 (2022) 3年前	R5 (2023) 2年前	R6 (2024) 1年前	R7 (2025) -	
			開催決定		リハール大会	開催			開催内定		開催決定		リハール大会	開催	
		キープ			スパート					キープ			スパート		
様々な募金活動の展開						様々な募金活動の展開									
個人						個人									
寄附の呼びかけ		インターネット、リーフレット、広報誌等の多種多様な媒体を活用して寄附を呼びかけ(記念品等の購入による寄附含む) 県内の方をはじめとして、県外の滋賀ゆかりの方にも呼びかけ													
募金箱の設置		徐々に拡大 (+イベント時)			県内どこでも見かけるように設置 (+イベント時)					徐々に拡大 (+イベント時)			県内どこでも見かけるように設置 (+イベント時)		
街頭募金の実施		□ □ □			□ □ □					□ □ □			□ □ □		
		開催決定イベント			開催直前イベント					開催決定イベント			開催直前イベント		
○具体的な取組						○具体的な取組									
		R2 (2020) 4年前	R3 (2021) 3年前	R4 (2022) 2年前	R5 (2023) 1年前	R6 (2024) -			R2 (2020) 5年前	R3 (2021) 4年前	R4 (2022) 3年前	R5 (2023) 2年前	R6 (2024) 1年前	R7 (2025) -	
			開催決定		リハール大会	開催			開催内定		開催決定		リハール大会	開催	
		キープ			スパート					キープ			スパート		
様々な募金活動の展開						様々な募金活動の展開									
企業・団体						企業・団体									
寄附の呼びかけ		県内の企業・団体や滋賀にゆかりを持つ県外の企業・団体に対し、直接訪問や依頼状送付などにより寄附を依頼 県内に本社がない企業については、必要に応じ本社を訪問するなどにより寄附を依頼													
寄附付き商品の販売、イベント参加料や施設利用料に寄附を含む方法などへの協力依頼		対象商品、イベント、施設の拡大を目指して協力依頼			さらなる拡大を目指して協力依頼					対象商品、イベント、施設の拡大を目指して協力依頼			さらなる拡大を目指して協力依頼		
マスコットグッズ販売の協力依頼		ぬいぐるみなどのグッズの販売を依頼			グッズの種類や、協力企業数の拡大を目指して協力依頼					ぬいぐるみなどのグッズの販売を依頼			グッズの種類や、協力企業数の拡大を目指して協力依頼		
戦略的な広報活動の展開		インターネット、リーフレット、広報誌、屋外広告物など多種多様な媒体により戦略的に広報を行う													
		決定イベントとの連携			1年前イベントとの連携					決定イベントとの連携			1年前イベントとの連携		
学校との連携		小学生による募金箱コンクール													
		広報物デザインコンテスト、募金アイデアコンペなど													
滋賀ゆかりの著名人やトップアスリートへの協力依頼		直接訪問により協力を依頼			さらなる拡大を目指して協力を依頼					直接訪問により協力を依頼			さらなる拡大を目指して協力を依頼		

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 募金推進計画改正（案）

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会募金推進要綱（以下「要綱」という。）第2条第3項の規定に基づき、寄附を通じた第79回国民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大会（以下「両大会」と総称する。）への参加を促進するため、次のとおり計画的かつ戦略的に募金を推進するものとする。

1. 推進体制

開催準備委員会の構成員は、各々の会員や加盟団体等に募金の周知を図るとともに、寄附の呼びかけを行うものとする。また、募金に係る広報活動等の取組についても連携協力して行うものとする。

2. 推進に向けた視点

次の3つの視点に基づき、取組を推進する。

(1) 「寄附したいと思っていただくための工夫」

滋賀や両大会を応援したいという思いの醸成を図る。

(2) 「気軽に寄附していただくための工夫」

寄附しようと思った時に、気軽に寄附できる環境を整備する。

(3) 「活動を持続させるための工夫」

長期間にわたる募金を持続させるために必要な工夫を行う。

3. 具体的な取組

(1) 様々な募金活動の展開

ア 個人

- ・ 県内の方をはじめとして、県外在住の滋賀ゆかりの方にも寄附を呼びかける。
- ・ 両大会記念物品等の購入を通じた寄附を呼びかける。
- ・ 公共施設や民間施設に募金箱を設置する。また、募金箱については、スポーツイベントをはじめとする各種イベント時にも設置するなど寄附機会の拡大を図る。
- ・ 駅や商業施設等において、街頭募金を原則として年に1回実施する。
- ・ 上記のほか、必要となる取組を実施する。

イ 企業・団体

- ・ 県内の企業・団体をはじめとして、県外の滋賀ゆかりの企業・団体についても直接訪問するなどにより寄附を依頼する。また、県内に事業所等があり県外に本社がある企業については、必要に応じ本社を訪問して寄附を依頼する。
- ・ 寄附については、通常の寄附のほか、寄附付き商品の販売、主催イベントの参加料や運営する施設の利用料に寄附を含める方法などについても協力を依頼する。
- ・ 職場募金への配慮を依頼する。
- ・ マスコットキャラクターのグッズ販売等について協力を依頼する。
- ・ 上記のほか、必要となる取組を実施する。

(2) 戦略的な広報活動の展開

- ・ インターネット、リーフレット、広報誌、屋外広告物等の多種多様な媒体を活用して戦略的に広報を行う。また、必要に応じ両大会開催のプレイメント等との連携を図る。
- ・ 広報にあたっては、選手の動向や思いを発信するなどにより、募金の趣旨に共感してもらうための工夫をする。
- ・ 寄附について税の優遇措置があることを周知する。

(3) 学校との連携協力

- ・ 県内の大学をはじめとした各種学校と連携協力し、若い世代による募金を含む両大会全般を盛り上げる取組を実施する。（例：募金箱コンクール、広報物のデザインコンテスト、募金アイデアコンペ等）

(4) 滋賀ゆかりの著名人やトップアスリートへの協力依頼

- ・ 各種広報活動やイベントへの出席等について協力を依頼する。
- ・ グッズ等の「モノ」のほか、一緒に何かをする権利等の「コト」の提供についても協力を依頼する。

(5) 寄附への謝意表明

- ・ 礼状の送付その他の方法で謝意を表明する。
- ・ 同意がある場合は、インターネットや開催準備委員会の総会等を通じ、氏名または名称を公表し、その厚意を讃える。

(6) 結果のフィードバック

- ・ 寄附金を充当した事業の実績や成果について、レポートを作成しインターネット

等を通じ公表することなどにより、寄附者に報告する。

(7) 様々な支払手段の設定

- ・ 募金専用納付書の作成や、募金箱の設置、クレジットカードによる寄附、その他インターネットを活用した寄附など様々な支払手段を設定し、手軽に、かつ気軽に寄附できるための環境整備を図る。

(8) メリハリをつけた推進

- ・ 週単位または月単位の取組集中期間を設ける。
- ・ 取組の開始時期をあえてずらしたり、進捗状況等を踏まえて刺激となる新たな取組を追加するなどにより息切れを防ぐ。

4. 推進計画の進行管理

推進計画については、取組の進捗状況等を「募金・協賛推進特別委員会」において毎年検証するとともに、要綱第2条第4項の規定に基づき、必要があるときは、開催準備委員会の総会の議決を経て変更する。

全体スケジュール

○募金の期間

		H27 (2015) 10年前	H28 (2016) 9年前	H29 (2017) 8年前	H30 (2018) 7年前	R1 (2019) 6年前	R2 (2020) 5年前	R3 (2021) 4年前	R4 (2022) 3年前	R5 (2023) 2年前	R6 (2024) 1年前	R7 (2025) -
						開催内定	開催内定		開催決定		リハ-ル大会	開催
使途	大会運営							(始期未定)				
	選手の発掘・育成・強化											(終期未定)
	施設整備											(終期未定)
【参考】企業協賛												

○具体的な取組

		H27 (2015) 10年前	H28 (2016) 9年前	H29 (2017) 8年前	H30 (2018) 7年前	R1 (2019) 6年前	R2 (2020) 5年前	R3 (2021) 4年前	R4 (2022) 3年前	R5 (2023) 2年前	R6 (2024) 1年前	R7 (2025) -	
						開催内定	開催内定		開催決定		リハ-ル大会	開催	
		スタート・ダッシュ			キープ				スパート				
様々な募金活動の展開 個人													
	寄附の呼びかけ	インターネット、リーフレット、広報誌等の多種多様な媒体を活用して寄附を呼びかけ(記念品等の購入による寄附含む)											
	募金箱の設置	公共・民間施設に設置(+イベント時)			徐々に拡大 (+イベント時)				県内どこでも見かけるように設置(+イベント時)				
	街頭募金の実施	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
							開催内定イベント				開催決定イベント		
										開催直前イベント			

		H27 (2015) 10年前	H28 (2016) 9年前	H29 (2017) 8年前	H30 (2018) 7年前	R1 (2019) 6年前	R2 (2020) 5年前	R3 (2021) 4年前	R4 (2022) 3年前	R5 (2023) 2年前	R6 (2024) 1年前	R7 (2025) -	
						開催内定	開催内定		開催決定		リハ-ル大会	開催	
		スタート・ダッシュ			キープ				スパート				
(様々な募金活動の展開) 企業・団体													
	寄附の呼びかけ	県内の企業・団体や滋賀にゆかりを持つ県外の企業・団体に対し、直接訪問や依頼状送付などにより寄附を依頼 県内に本社がない企業については、必要に応じ本社を訪問するなどにより寄附を依頼											
	寄附付き商品の販売、イベント参加料や施設利用料に寄附を含む方法などへの協力依頼	直接訪問等により協力依頼			対象商品、イベント、施設の拡大を目指して協力依頼				さらなる拡大を目指して協力依頼				
	マスコットグッズ販売の協力依頼								ぬいぐるみなどのグッズの販売を依頼		グッズの種類や、協力企業数の拡大を目指して協力依頼		
戦略的な広報活動の展開		インターネット、リーフレット、広報誌、屋外広告物など多種多様な媒体により戦略的に広報を行う											
							内定イベントとの連携				決定イベントとの連携	1年前イベントとの連携	開催イベント
学校との連携		関係機関等と調整	小学生による募金箱コンクール										
		広報物デザインコンテスト、募金アイデアコンペなど											
滋賀ゆかりの著名人やトップアスリートへの協力依頼		直接訪問により協力を依頼									さらなる拡大を目指して協力を依頼		